

「一致結束して、安倍政権打倒・新潟知事選勝利を！」と、

6野党・会派が緊急院内集会

立憲民主党、日本共産党、国民民主党、無所属の会、自由党、社民党の6野党は18日、「安倍暴走政権に『怒！』野党合同緊急院内集会」を開き、一致結束して安倍政権打倒をめざす決意を表明しました。

冒頭、国会全体の情勢を報告した国民民主党の泉健太国対委員長は、改ざん前の決裁文書全文を18日までに提出するとしてした約束をほごにし、23日に先延ばしし、悪法を押し通そうとする政府・与党を批判。「与党に対峙し、みんなで声をあげて国民に訴えよう」と強調しました。

続いて、悪法とのたたかいについて担当議員が発言しました。

立憲民主党の吉田統彦衆院議員は、「働き方改革」一括法案について、厚労省の労働時間調査で2割超の「異常値」が明らかとなったことをあげ、「普通だったら撤回だ」と強調しました。そして、衆院厚労委での採決が23日にも狙われていると指摘し、「野党が一丸となって対応していく」と強調しました。



日本共産党の塩川鉄也衆院議員が、TPP協定と関連法案について発言。衆院外務委での協定採決を厳しく批判し、同内閣委でもわずか14時間の審議で関連法案の採決を強行する動きを報告しました。塩川氏は、政府・与党が採決を急ぐ理由は「日本経済や国民生活に関わる重大な中身を国民に知られたくないからだ」と指摘。しかも、後ろに控えるカジノ実施法案の今国会成立も狙っていると述べ、「野党が国民と結束すれば政府与党の暴挙を許さない力を発揮できる」と訴えました。

無所属の会の江田憲司衆院議員が、加計疑惑について報告。「加計問題は完全に黒だ」と断言し、「加計孝太郎さんと安倍昭恵（首相）夫人の国会招致がなければ国民は納得しない」と力を込めました。

新潟県知事選（24日告示、6月10日投開票）について、自由党の森ゆうこ参院議員が報告。「柏崎刈羽原発再稼働は認められない」と強調し、安倍首相の意向で動く与党候補に負けられないと述べ、野党が結束して池田ちかこ候補を勝利させようと呼びかけました。

最後に社民党の吉川元幹事長の音頭で、安倍政権打倒と新潟県知事選勝利に向けて「ガンバロー」を三唱しました。

各地の3000万人署名のとりくみ

新潟 池田知事候補も駆けつけ3000万人署名成功に向け、スタート集会！

知事選挙がたたかわれている新潟の市内西区で、20日、安倍9条改憲ストップへ市民と野党の党派を超えた共同でたたかい、3000万人署名を成功させようと、「9条守ろう市民アクション@西区」のスタート集会が開催されました。24日告示、6月10日投票で行われる知事選挙に立候補する池田ちかこ氏も駆けつけました。

池田氏は、海外の戦争に自衛隊が加担できるようにする9条改憲を許さないと「私もこれまで地元の市民と一緒に3000万人署名に取り組んできました」と発言。改憲のたくらみに痛打を与える上でも、全力でたたかう決意を訴えました。

立憲民主党の西村智奈美衆院議員は、安倍政権が森友・加計疑惑の追及を恐れ、野党が一致して求めた臨時国会の開会要求を拒むなど憲法違反をしてきたことを指摘し、「安倍首相に9条を変える資格はない」と述べました。

市民連合@新潟共同代表の金子修弁護士は、自衛隊を9条に書き込んだ自民党改憲推進本部の案によって、国民保護を口実にした無制限の自衛隊の海外派兵が狙われる危険性を解説しました。

会場からの質問に、近藤正道弁護士は「新潟のように全国で市民と野党が共闘し、選挙で国会議席の過半数をとれば安保法制の廃止は可能」として、3000万人署名と知事選の重要性を語りました。

安倍9条改憲をストップさせる全国的な意義を持つ歴史的な知事選挙

この度の知事選挙は、原発再稼働を許さず、原発ゼロをめざし、新潟県民の暮らし最優先の県政を実現させるとともに、国民を欺き、うそをつき、あらゆる分野で暴走政治を続ける安倍政治にNO!の審判を下し、安倍政権を退陣に追い込み、憲法9条改憲をストップさせる、全国的な意義を持つ歴史的なたたかいです。支援を決めた6野党は、池田氏の応援のため、国体委員長が27日にそろって現地に入り、街頭演説を行うことを決めるなど、一体となって勝利をめざし奮闘しています。新潟の友人・知人に、電話で池田さんへの支持を訴えましょう。

福岡 アベ政治を終わらせよう！天神総行動

福岡市の天神で19日、「アベ政治を終わらせよう！天神総行動」が行われました。福岡県総がかり行動実行委員会の主催で、九条の会福岡県連絡会、市民連合ふくおかが共催。2000人超の参加者が森友・加計疑惑の徹底究明と憲法9条改憲阻止、脱原発での起用同の前進へ声を上げ、野党各党の代表があいさつしました。

県総がかり実行委員会の青柳行信代表は、安倍政権の外交の破たんや憲法改悪の動き、相次ぐ不祥事を批判し、「アベ政治を追い詰め、終わりにしよう」と呼びかけました。

日本共産党の田村貴昭衆院議員は、野党の院内集会成功や共同の法案提出にふれ、「市民と野党の共闘を広げ、百害あっても一利なしの安倍政権を一日も早く終わらせるため、日本共産党は渾身の力で頑張ります」と力を込めました。

立憲民主党山内康一衆院議員、野田国義参院議員（無所属）、社民党県連村山弘行幹事長、ふくおか緑の党荒木龍昇代表があいさつ。国民民主党県連からメッセージが寄せられました。



愛知 「安倍内閣打倒！憲法改悪阻止！5・19集会・デモ」

名古屋市中区で19日、「安倍内閣打倒！憲法改悪阻止！5・19集会・デモ」が開かれ、市民ら800人が参加しました。

実行委員会の長峯信彦愛知大学教授は、「野党と市民が大同団結し、心をひとつにして、まともな立憲主義ができる政権をつくろう」と話しました。



ストップ改憲ママアクションの中澤和子さんは「3000万人署名を集め、安倍内閣にとどめをさそう。国民の方を向いた当たり前の政治にしよう」と訴え、あいち沖縄会議の具志堅邦子さんは「沖縄が日本に復帰して46年を迎えた。安倍内閣を退陣させ、辺野古基地建設を撤回させよう」と訴えました。

立憲民主党の近藤昭一衆院議員、日本共産党の本村伸子衆院議員、社民党、自由党の代表があいさつ。本村議員は「市民の声に押され、国会内外で野党が共同している。不公平な政治は許さない。みんなの力を合わせよう」と話しました。

デモ行進では「安倍やめろ」のプラカードを持ち、「平和を守れ、憲法生かそう」「モリカケ問題追及しよう」などとコールし、沿道の注目を集めました。